



2024

学校だより 本荘 Smile

令和6年度 第20号
令和6年9月4日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

台風による休校。その時本荘小では・・・「備えあれば憂いなし」です。

この写真は、児童昇降口の写真です。何かお気づきになりますでしょうか。例えば窓に貼られた養生テープ。もうおわかりですね。これは、台風による2日間の休校が決定した次の日の本荘小の様子です。本校の校舎は、すでに、このような台風対策が出来上がっていました。

さすが、本荘小学校の先生方は働き者ばかりなのです。プランターや掃除道具など風で吹き飛びそうなものは、きちんと校舎内に入れてありました。教室の中は、窓に養生テープが貼られた後に、カーテンが閉められ、万が一窓ガラスが保損しても極力、破片が飛散しないように工夫してありました。また、

電子黒板やこどもたちの机など、雨が吹き込んだりして、困るものは、廊下側に集めてあり、台風による被害を最小限に食い止め、月曜日にこどもたちが登校した時も、困ることがないようにしてあったのです。

「相手意識」とよく言われますが、自分以外の誰かのために行動できるっていうことは、大変素晴らしいことだと思います。こどもたちもぜひ、このような先生方の姿に学んでもらいたいと思った校長先生でした。

熊本市内はそこまで被害もなかったようでしたが、今回の台風は予測が難しく、進路がかなり変化しました。まさに今の社会情勢を表すようでしたね。予測が難しく、変化が激しい社会、これからの社会の姿です。その中でこどもたちは生きていかなければなりません。台風によって、避難所も開設されましたので、私と教頭先生は28日の夕方から30日の勤務終了まで、学校に泊まり込むことになりました。食料を調達したり、着替えを準備したりとなかなかいそがしかったのですが、各ご家庭ではどのような準備をされましたでしょうか。こどもたちに聞いてみようと思っています。なぜか？こんなときにこそ、「生きる力」が発揮されなければならないからです。

今回の台風で改めて、これからこどもたちにどのような「力」を育てないといけないかを考えました。最近の台風では、養生テープがあつという間に売り切れたり、スーパーマーケットでパンがなくなったりする傾向があります。そんな世の中を理解し、早めにホームセンターやスーパーで必要なものを集めることができる人たちもいます。

先を予見し、主体的に行動することができる「力」を育てていくことが大切なのです。具体的に言いますと、「パンが売り切れる前に、僕が買いに行ってくださいませんか？」「電池を買いに行かないと懐中電灯がつかないかもしれないよ。」といった具合です。もちろん、必要な分を見極めることも大切。自分以外の人のことも考えたうえで主体的な行動をとることができるようになってほしいものです。(裏面に続きます)



家の人がバタバタ準備をしている横でゲームをしたり動画を見たりしているのではなく、状況を見据えてご家族に自ら提案できるような力を育てることが、必要になってくるのだと思います。(校長)

校長先生の虫眼鏡 「自転車もこの通り」



台風対策では、本荘小の自転車もこの通り!きれいに並べて室内に入れてありました。ひとはつつい「自転車なんか風で吹きとぶことなんかないよね。」と甘く考えてしまいがちです。でも、新聞記事を読まれましたか?宮崎では竜巻で軽自動車も横転していましたよね。まさに「備えあれば、憂いなし」です。各教室の様子です。台風の中、こどもたちが来る日を待っていました。









